

1 学校目標

1 教育目標（建学の精神）『あなたたちは世の光である あなたたちは地の塩である』

- (1) 自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材を育成する
 A. 主体性を育てる B. 自己を他者にひらいてかかわる力や態度を養う
 C. 神に心をひらく生き方を促す D. 調和のとれた人格の発達をめざす
- (2) 建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限に伸ばすことを願い、学力を基礎とした人間力のある生徒を育成する

2 生徒に身につけさせたい資質・能力 『人間力』

- (1) 主体的に学び続け、目標に向かって最後までやり抜く力（自己管理力・探究力・協働力）
 (2) 他者とかわり社会で働く知識と技能（コミュニケーション力・協働力・プレゼンテーション力）
 (3) 課題を発見し、解決していく課題解決力
 (4) グローバル人材としての思考力、判断力、表現力（コミュニケーション力）
 ※（1）～（4）の向上をとおして、基礎学力の定着と学力UPをめざす

3 ミッション 『教育の特色を理解し、生徒一人ひとりの自己実現を支援する』

- (1) 萩光塩学院の教育の理念を理解し、それを日々の学校教育において具体化し、充実・発展させていく
 (2) 各教科で研究を行い、基礎学力の定着と応用力の発展に努める（学力定着の具体的な取り組みを行う）
 (3) 生徒の進路実現に向けて現状の課題をみつけ、対策・強化に努める（新入試制度に対応する）
 (4) 地域との連携・協働を通じて生徒の役割や活動の場をさらに増やし、生徒の自己肯定感の醸成を図る

4 めざす教師像 『自分のまわりに喜びと光をまく教師』 信頼される教師＝感性を磨く

- (1) 教育的な情熱・真剣さ・・・教師として真剣に教育活動に携わる心をもつ
 ・理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗をながすことができる教師
 ・生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすことができる教師
 ・受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識して「是は是、非は非」とした指導ができる教師
 ・真摯な態度で職務に取り組み、モラルの向上と綱紀の保持に努める教師
- (2) 教育的力量を身につける・・・「気持ち」だけでなく、能力や技能を身につけて実践する
 ・教科研究、教科指導に積極的に取り組む教師
 ・責任を持って自分の役割を果たすと共に組織の一員であることを忘れず、助け合うことができる教師
 ・生徒や保護者、地域との連携を図り、迅速に対応することで信頼関係を築くことができる教師
 ・地域との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校・クラス運営に反映させる
- (3) 総合的な人間力を高める・・・教師としてある前に、人としての魅力を高めようとする
 ・自らの個性や特技を積極的に発揮することができる教師
 ・仕事や日常生活の中で自分自身を客観的に見つめ、自らの課題を理解し、前向きに自分自身を成長させていこうとする考えや姿勢を持つ教師
 ・自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れない、実践力のある教師

5 教職員全員で気をつけて取り組むべき5+1項目 『決まりを守る』

(1) 提出物の期限を守る

- ・外部への提出資料はもちろんのこと、内部提出の資料も期限を守る

(2) 教職員同士の連携の強化（仲間を思いやる気持ち、ミスを補い合う気持ちを高める）

- ・PDCA サイクルに則って、分掌間の情報を共有し、OJTの推進に努める。
- ・諸会議等の計画的効率化（限られた時間を有効的に活用するため、会議は計画的、効率的に実施）

※PDCAとは、Plan(計画)、Do(実行)、Check(反省)、Act(改善)

※OJT(On the Job Training)とは、上司や先輩が、部下や後輩に対して、仕事をとおして、必要な知識・技術・技能・態度などを意図的・計画的・継続的に指導し修得させることによって全体的な組織としての業務遂行能力を育成すること。OJTには、Show(やってみせる)、Tell(説明する)、Do(やらせてみる)、Check(評価・追加指導)の4つの手順と、意図的・計画的・継続的に行う3つの原則がある。

(3) 綱紀保持に努める

- ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、個人情報の管理、セクハラ、パワハラ、公金管理、言葉遣いなど

※暴力的な言葉、馬鹿にするような言葉、相手の人格を否定するような言葉は使わない。

※生徒の個人情報に関することについては、校長の許可なく学校外で話したり公表したりしない。

※生徒を自ら運転する車に乗せ引率する場合は、必ず校長・保護者の許可を得る。また前日から体調管理に努め、体調不良の時は運転しない。(法定速度等を遵守すること)

(4) 学校施設・設備・備品の管理・取り扱いに注意

- ・学校備品は、大切に使用し整理整頓を確実に行う（使用した物は確実に元あった場所に片付ける）

(5) 時間厳守

- ・授業の開始と終了、ホームルームの開始と終了、掃除の徹底、下校時刻、職員会議、勤務時間等

(6) 自らの健康管理に努める(+1) . . . []

- ・新型コロナウイルス感染防止対策、暴飲暴食、睡眠不足等に気をつける

2 取り組みとそれに対する評価

教 務	
目標（計画）	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒の基礎力と学力の向上を図る (2) 新教育課程での授業を円滑に進める (3) 教員として必要な資質向上のための研修をおこなう (4) 教員の授業力向上を図る (5) 建学の精神の進化を図る (6) 業務を簡素化し、効率的に仕事を進められるようにする (7) ICT 機器の積極的な活用を図る
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> (1) 週4回、朝の時間を使い、高校は週2回、朝学で国・数・英の基礎知識の定着を図っている。残りの2回（中学校は週4回）は読書の時間を設け、読解力や思考力、表現力を養っている。国語では校内漢字テスト、英語では校内英単語テストを年に4回実施している。（中学校はこれに加え、数学で年に5回の計算テストを実施している）成績優秀者には表彰を、点数が足りない生徒には、追試験をおこなうなど意欲的に学ぶ姿勢を育てている。中学校・高校の特別進学コースは7時間目の授業や課外授業、土曜登校日などで学力向上や受験対策をおこなっている。高校の普通コースの生徒には、基礎学力講座や大学進学講座、准看対策講座を実施し、生徒のニーズに合わせた授業をおこなっている。学力支援が必要な生徒に対しては、個別に学習支援をおこない、基礎知識の定着を図っている。 (2) 高校は今年度より新学習指導要領での授業がスタートした。大きな変更点としては、「観点別評価」の実施だが、中学校で実施していたこともあり、若干の見直しはあったものの大きな問題もなく進めることができた。また新教育課程での授業スタートに合わせ、定期試験の実施方法も大きく見直しをした。教科数増加による試験日数の増加、試験当日の欠席者の扱い、追試の考え方など様々な変更をすることで、定期試験の重要性を生徒に再確認させることができた。2023年度から選択教科で、「プログラミング演習」という新たな授業をスタートさせる。今後も生徒のニーズに合った授業を導入できるように教務でしっかり企画・検討していきたい。 (3) 昨年度より研修の機会を増やすことができた。ここ2年間はコロナ禍で研修の回数が減っていたが、校内・合同研修など充実した研修を行うことができた。5月に母体であるメルセス会のシスターをお招きしてのカトリック研修、1月には、メルセス会を母体とする本校、萩光塩学院認定こども園、廿日市市の聖母マリア幼稚園の教職員が集まり合同研修会も行うこともできた。5月、3月にスクールカウンセラーによる研修を実施した。校内では進路指導部による研修、綱紀保持などの研修も行った。また若手教員を対象に2回ほど神父様に来ていただき、カトリック研修を行った。 (4) 各教科で研究授業を実施し、授業参観や事前事後の研究協議を通して、授業力向上に努めた。電子黒板やプロジェクターなどICT機器を積極的に活用し、分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。生徒に貸与しているタブレットを活用して授業を進める姿も見られ、年々効果的に活用することができている。年に2回授業アンケートを実施し、現状や課題を把握し、よりよい授業づくりに活かすことができた。また、全授業アンケートを教務で集計し、各教科で共有した。 (5) 毎朝の朝礼で「朝の奉献の祈り」と「光塩生徒の姿」を唱えることで、光塩の生徒が目指す生徒像を確認している。学期に1回テーマをもとに「学院の精神」をホームルームの時間におこない、建学の精神について考えを深めた。また、11月1日の開校記念ミサの前には、探究（総合）の時間を通して、萩光塩学院の歴史について学んでいる。 (6) 今年度も校務支援システムを活用しての指導要録・調査書の作成、タブレットを活用しての朝学や授業アンケートの実施などに取り組んだ。様々な場面で有効にICT機器を活用することができている。

<p>反省 (振り返り)</p>	<p>(7) 授業以外にも様々な活動に使用している。</p> <p>(1) 朝学や朝読は生徒にとって非常に有意義な時間になっている。タブレットを活用して取り組んでおり、今まで以上にしっかり振り返ることができている。漢字テストや英単語テストも成績優秀者が年々増えており、自ら学習する意識が身に付いてきている。課外授業や土曜登校日、個別学習においてもそれぞれ成果が表れている。</p> <p>(2) 新学習指導要領での授業を円滑に進めることができた。新たな授業もスムーズに進めることができるように準備をしていきたい。また定期試験を大きく見直したことで、試験当日に欠席する生徒がほぼいなくなった。</p> <p>(3) 今年度は研修を充実させることができた。特に姉妹校の教職員が一同に集まって分かち合いができたことは、大きな収穫となった。オンライン授業日を設定できなかったのが反省である。</p> <p>(4) 各教員が ICT 機器を積極的に使いながら授業を行っているので、生徒にとっても分かりやすい授業になっている。研究授業をもっと行う必要がある。</p> <p>(5) 担当が毎回「学院の精神」の修正を行い、よりよい授業になってきている。生徒同様、教員ももっとカトリック研修を行い、知識や幅広い考え方を身に付ける必要がある。</p> <p>(6) 様々な場面で業務改善がおこなえており、非常に効果的である。しかし、担当の準備が間に合わず実施を見送ったものもあったので、責任をもって準備にあたらなければならない。</p> <p>(7) 一人ひとりがタブレットを持っていることで、多くの場面で ICT 機器を活用する意識が高まってきている。有効に使用できている場面が多くあった。</p>
<p>評価 (5段階)</p>	<p>4</p>
<p>来年度へ向けて</p>	<p>新たな授業をスムーズにスタートさせる。 選択教科 (高3) を決定する。 教員の研修の機会さらを増やす。 今年度できなかった課題を早急に改善していく。 さらなる効率化を目指して、簡素化できる業務を改善していく。 ICT 機器の更なる活用を促していく。</p>

進路指導	
目標（計画）	<p>高1：学習習慣を身につけ、基礎学力の確認・充実を図る。自分の適性を把握し、将来像を描く。</p> <p>高2：職業や学部・学科への知識を深め、自己の進路をより具体化する。</p> <p>高3：進路目標の達成のための学習計画を遂行し、就職や進学への本格的に取り組む。正しい情報の収集、早急な対応、準備に努める。</p>
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・高1、高2は学期に1回、高3は1学期にHRや総合的な探究の時間を利用して進路講話を実施。 ・保護者対象の進路説明会を、高3は5月に、1、2年は7月に実施した。 ・高2は7月に進路適性検査を実施。 ・夏休みに夏期講習、冬休みに冬期講習を実施。春休みに春期講習を実施予定。 ・毎学期、進路ガイダンスを実施。 1、2学期は大学・企業の説明会を実施。3学期は職業理解講座と、小論文対策の講座を行った。 ・高3は夏休み中から面接指導を実施。 ・高2は10月に広島県の大学・専門学校を訪問し、進路研究を行った。 ・高1は11月に至誠館大学の大学説明会に参加し、進路研究を行った。 ・3月に調査書等に関して、職員研修を実施。 ・就職希望者に対しては、就職サポーターの助言をもらいながら、企業訪問や面接練習を実施。 ・進学希望者に対しては、受験前に面接練習や小論文指導の実施。 ・毎月模擬試験の実施。
反省 （振り返り）	<ul style="list-style-type: none"> ・年々、生徒や保護者の進路への意識が高くなっているように感じる。期待に応えられるように教員側も常に正しく新しい情報を得て、提供していく必要がある。 ・進学希望者への面接練習も予定表を事前に提示し、計画通りに進めることができた。今後も早めに予定を立て、余裕を持って受験に臨めるようにしたい。 ・昨年度から実施している高2の県外への大学訪問では、進路に向けての意識が高まったようだった。昨年度から訪問先を検討し、変更してよかったように思う。 ・毎学期、進路講話の時間を取ってもらえてありがたい。 ・高大連携している至誠館大学への進学者が今年度はゼロだった。今後もこれまで通り繋がりを大切にし、地元進学の魅力についても気づかせたい。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	<p>コロナ対策が緩和されるだろう来年度は、今まで以上に外部でのガイダンスやオープンキャンパスなどにも参加させたい。また、校内でのガイダンスは内容の見直しをしていきたい。そして例年通り、何よりも生徒の進路実現を第一に考え、迅速に対応していきたい。来年度こそは、教員・保護者の大学訪問も計画したいと思っている。</p> <p>就職希望者は少人数だが、希望の職種に就けるように今後もしっかりサポートしていきたい。</p>

生活指導	
目標（計画）	<p>生徒指導の目的 生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、自分の言動に責任をもつことができる力（自己指導能力）を育成する。</p> <p>生活指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「規範意識を高める」「いじめを根絶する」 ・ルールやマナーを自ら守り、モラルの向上をめざす。 ・正しい服装をする。 ・遅刻をしない。 ・すすんであいさつをする。 ・場にあった正しい言葉づかいをする。 ・いじめを絶対に許さない。
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯・パソコン安心講習会 ・交通安全教室 ・薬物乱用防止教室 ・Fit、生活アンケートの実施 ・試験期間中の校外指導 ・各学年による服装検査 ・校則の見直し
反省 （振り返り）	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE、Twitter等のSNSがきっかけとなるトラブルが数件あった。 ・人間関係の悩みを抱える生徒が多く、教育相談、SCとの連携強化が必要である。また関係を悪化させている要因の多くが、SNSを通してのコミュニケーションによる誤解や思い込みである。家庭と連携して情報モラル・マナーを身につけさせるとともに、対面で話をすることの重要性を理解させたい。 ・大きな服装の乱れはなかったが、頭髪検査の際、指導に従わない生徒が若干いた。指導の意味を理解させ、納得させることが大切である。 ・自らすすんであいさつをする生徒が少しずつ増えてきたが、まだ十分な状態であるとは言えない。モラルや規範意識を高めるため、自ら考え行動できる力を育成できるよう、学校全体で指導を行っているが、今後も継続していく必要がある。 ・校則に関して、大きな見直しを行った。今後も社会の変化などに応じ、定期的に見直していく必要がある。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	<p>来年度、校則が大きく変わり、混乱も多少起こる可能性があるが、生徒一人ひとりが校則の意味を考え行動できるように教育活動全体を通して指導していきたい。また、どのような場所でもルールやマナーを自ら守り、的確な判断や行動ができるように指導・支援をしていきたい。</p> <p>また、いじめの根絶に向けて、生徒のコミュニケーション力や人権意識を高める指導にも力を入れていきたい。</p>

教育相談	
目標（計画）	一人ひとりの子どもの自己実現に向けて、教育上の諸問題や不適応問題について、本人または、保護者、すべての教職員とともに解決に向けて取り組む。
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ○「個別の支援計画」を持った生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校との引き継ぎ ・保護者との事前教育相談 ・専門機関との引き継ぎ及び保護者を交えた相談 ・継続支援の実施 ・担任、教科担当への引き継ぎ ・本人と面談 ○気になる生徒の早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> ・実態把握 ・必要に応じて面談と指導、支援の実施 ・学校生活実態から、必要な生徒の学年会議 ○ケース会議 <ul style="list-style-type: none"> ・問題発生の場合に、会議を実施 ・生活指導問題と関連して必要に応じて会議 ・スクールカウンセラー、担任と共に、実態把握や支援に繋げるための会議 ・スクールカウンセラー、担任との会議 ○専門機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関との連携 ○情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度末に小学校、中学校との引き継ぎ ・担任、教科担当への支援 ・本人への指導、支援、相談 ・保護者に対する相談窓口 ○スクールカウンセラーとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教員との面談 ・各学年、心理教育授業の実施 ・入学時、卒業時の心理授業及び全学年での心理授業の実施 ・いじめ対策委員会への参加と助言を受け対応の実施 ・生徒情報及び状況から助言を受け、対応の実施 ・学期ごとに教員研修の実施 ○いじめ対策委員会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導と協力し、生活アンケート等からの会議 ・実態把握 ・いじめ事案のケース会議への参加
反省 （振り返り）	<p>今年度も、新型コロナウイルス感染症予防のため地域の集会が中止となったり、カウンセラーの先生との面談が出来なかったり、相談活動には困難なことが多くあった一年だった。マスクを着けているために生徒の表情を読み取ることが難しく、名前と顔が一致しないので何度か間違いをしてしまった。</p> <p>相談室や応接室にコロナ感染症予防対策として、パネル、空気清浄機の設置がされ、相談活動の環境に安心と安全が図られたことは、大変ありがたかった。保護者相談など多人数のケース会議では、密で会話することへの不安が除かれ、お互いに安心があって、発言できるのでとても良かった。保健室に来室する生徒に対しても、新型コロナウイルス感染症予防により、休養をとる生徒、相談に来た生徒の対応が難しく、気を使った。が、換気や消毒とともに布団乾燥機と空気清浄機の活用で保健室相談や相談活動での安全を保たれていたと思う。</p> <p>SCの先生には、緊急対応にも快く相談にのっていただき、計画日以外でも来校し、面談していただき助言や対策をもらえた。しかし、相談活動が多かったために休憩時間も少なく、職員室で過ごす時間が取れなかったのも、せっかく職員との関係が近くなっていたのに、先生方にも申し訳なかった。また、相談活動が多かった生徒にも、卒業前にSCとの時間をとった。卒業後の心の健康について話せ、良い時間だったと思う。</p> <p>今年度は、高校生だけではなく中学校の支援が多くなり課題も多く残している。担任が一人で抱え込むのではなく、連携をとることをしたい。中学校の教育相談担当者が設置されれば良いと感じる。</p> <p>生徒の抱えている悩みや問題内容によっては、早急な連携と対応が必要であり、これからも学校が、一体となって対応することができる様、校内体制を築き、教職員の意識を高めることも課題である。</p>
評価（5段階）	4

来年度へ向けて	<p>各学年や各組織との連携を図り、問題が大きくならないうちに対応できるよう努めたい。中学校は支援計画を持ってきている子どもが多くあり、高校生は不登校傾向の生徒が増え、対応を求められている。担任が全てを抱えるのではなく、教育相談とも情報を共有し、共通理解に基づいた協力体制作りを図りたい。</p> <p>校内教育相談体制を明確にし、教職員が、気になる生徒に気づいた場合に行動がとれるよう、支援体制づくりをしなければならない。</p>
---------	--

募 集	
目標（計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・広報担当を中心に、円滑に募集活動を行う。 ・萩市内や長門市、山口市の宣伝を充実させる。 ・光塩会の協力を得る。 ・学校紹介用DVDの見直しを行う。 ・ホームページの見直しを行う。
実施事項 （活動内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガイドなどをもとに、責任者(今年度は校長が兼務)を中心に計画と活動を実施した。 ・広報活動や広告、学校見学日やオープンスクール、萩ケーブルネットワークやはぎ時事への取材交渉などを広報担当が行った。 ・中学校訪問は、全教員で萩市や長門市に加え、山口市、美祢市、宇部市の学校にも行った。 ・小学校訪問は中学校教員を中心に年2回行った ・TVCMなどメディアを利用した宣伝活動を行った。 ・FacebookとInstagramで学校の活動をいち早く情報発信した。 ・光塩会役員の協力を得て、ポスター掲示を円滑に行うことができた。教職員の負担軽減、業務改善につながっている。
反省 （振り返り）	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員だけでなく保護者の方々と連携をとって宣伝活動ができた。 ・光塩会の協力で市内ポスター掲示をスムーズに行うことができた。 ・新聞やテレビで本校の活動が多く取り上げられ、広く宣伝することができた。 ・FacebookやInstagramにより、多くの人に本校の活動・取組について情報発信をした。 ・横断幕の作成が間に合わないぐらい生徒が多分野で活躍した。 ・テレビ局に依頼し、例年より多く取材に来ていただき、学校の活動を広く知ってもらうことができた。 ・来年度用の学校紹介用DVDの見直しをし、撮影を始めることができた。 ・ホームページの見直しを行ったが、リニューアルまではしなかった。来年度新たにしていきたい。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・地元である萩・長門地区の生徒・保護者にこれまで以上に本校の魅力を発信する必要がある。 ・新たに訪問した市外の学校に対して、より一層の情報発信を行い、生徒募集につなげていきたい。 ・他地域の生徒・保護者にも本校の取り組みや特色を伝えるため、各種メディアを活用していきたい。今後も、引き続き保護者協力を得る必要がある。

校 友 会	
目標（計画）	生徒が自ら喜びをもって活動できる学校を作る 新たな企画を行うと同時に、いままでの行事を充実させる 委員会、部活動と連携し、活動の幅を広げる
実施事項 （活動内容）	<p>全体（高校執行部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会 ・文化祭（出し物） ・お楽しみ会 ・3年生を送る会 ○ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> ・World Vision チャイルドスポンサー ・献血推進活動（文化祭） ・市内3校合同清掃活動 ○代議委員会（月目標決定）、中央委員会の開催 ○校友会新聞発行（各学期） ○朝のあいさつ運動 ○生徒の要望をまとめ、学校に提出 ○行事等の進行、あいさつ（壮行式、オープンスクール等） ○「萩フレンド保険」加入者特典萩産品選定、発表会参加 ○バザー協力をお願い ○バザー宣伝（はあぶビジョン、エフエム萩出演） ○はあぶビジョン高校生サミット2023出演 ○SDGsの具体的な取り組み（各委員会と連携） <p>中学校（中学校執行部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校の行事の企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会 ・文化祭（販売） ・ハロウィンパーティー ・クリスマス会 ・3年生を送る会 ○体育祭でのあいさつ ○朝のあいさつ運動 ○ボランティア活動
反省 （振り返り）	<p>学校生活をより良くするために、校友会執行部、各委員会ともに、生徒が主体的に活動に取り組んだ。学校行事や委員会活動、ボランティア活動を通して、生徒一人ひとりが充実した学校生活を送ることができた。</p> <p>中学校は校友会執行部を中心に、生徒同士が連携を取り、中学校の行事を盛り上げることができた。</p> <p>中学校、高校ともに、執行部が掲げた公約の実現に動き出している。</p>
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	<p>各委員会で提案されたSDGsの具体的な取り組みを積極的に実施し、生徒たちがより良い学校生活を送ることができるようにする。また、世界や社会に貢献できるように繋げていく。</p> <p>コロナ対策が緩和されることで、学校行事がより一層充実したものとなるように校友会執行部が中心となって取り組んでいきたい。</p>

国際交流活動	
目標	生徒の視野を広げるため、積極的に外国の方との交流の機会を計画する。世界共通語としての英語を使う体験を通し、日頃の学習意欲の向上につなげる。
実施事項	<p>今年も新型コロナウイルス感染症の影響で、海外からの訪問や、海外への修学旅行など、本校が行ってきた国際交流はほとんどできなくなってしまった。そのような中ではあるが、中学校では7月に International Workshop を行うことができた。萩市内のさくら国際言語教育学院の学生5名に来ていただき、それぞれの国の紹介や生徒が行う萩市や日本の文化のプレゼンテーション、萩市内でのフィールドワークなど、様々な国の方々と活動を通して、英語でコミュニケーションをとり、その難しさや楽しさ、異文化に触れることの大切さを学ぶことがで、中学生にとって良い体験となった。</p> <p>また、2018年に来萩されたときに交流のあったヨルダン駐日大使が、この度ヨルダン王女と共に萩に来られる機会があり、本校にも訪ねてこられることになった。中学生・高校特別進学コースの生徒と久しぶりの国際交流の場を持つことができ、生徒にも良い経験となった。</p> <p>3学期から英語科の補助教員としてドイツ人の大学生 Kyra (キラ) さんをお迎えした。英語の授業だけでなく、中学校の総合学習や高3の卒業講座など色々な場面で生徒との交流を行っている。</p> <p>今年もクリスマスに、世界中にある姉妹校とお祝いメッセージの交換を行った。世界とのつながりを感じられるものになった。</p>
反省	色々な機会を捉えて、国際交流の場をを昨年よりも多く持つことができた。リモートによる交流の機会を作ることができなかったことは残念であった。
評価 (5段階)	4
来年度へ向けて	新型コロナウイルス感染症が5類相当になることに伴い、これまで行っていた形での国際交流活動を再開したいと考えている。また、リモートを活用した交流なども積極的に進めていきたい。

ボランティア活動	
目標（計画）	「奉仕の精神」を養う場、地域貢献の場として重要な活動と位置づけ、生徒が積極的に取り組めるようにする。地域貢献、異文化理解を柱に活動するメルセダリアン・インターアクトクラブ及び、学期末のボランティアへの登録者（インターアクター）を中心に活動を続ける。生徒自身に自覚を持たせ、活動に取り組ませる。
実施事項 （活動内容）	<p>高校生は施設訪問の代わりに、学期末に市内清掃活動（キリシタン殉教者記念公園、菊が浜、学校周辺）を行っているが、今年は1学期に予定した3年生の活動は雨天のため中止となった。年間を通して「老人ホームへの手紙」の活動を行った生徒もいる。</p> <p>校友会や宗教委員会の呼びかけで、物資の収集、支援を行っている。今年度も募金活動（チャイルドスポンサー、クリスマス献金等）、使用済み切手の収集、物資支援（ほしの家、釜ヶ崎越冬支援）、書き損じハガキ収集等を行った。経済委員会でのベルマーク収集をもとにした寄付のほか、メルセダリアン・インターアクトクラブの呼びかけによる巻芯回収のエコプロジェクトへの参加も継続している。</p> <p>メルセダリアン・インターアクトクラブの活動として、昨年度に引き続き、「はぎマルシェ」に定期的に参加し、子供の遊び場を提供した。</p> <p>夏休みには、児童館主催の幼児・児童向けのイベントに、音楽・幼児教育コースの生徒がボランティアとして参加したほか、萩ライオンズクラブの献血推進活動、須佐公民館での放課後子ども教室の学習支援など、今年度新たに参加した活動もある。なお、3年ぶりに再開予定だった24時間テレビ募金活動は直前で中止となった。放課後子ども教室に関しては、萩セミナーハウスで実施された小学生の小物づくりの活動に、10月より毎月（2月以外）2～3名の高校生がボランティアとして参加をしている。</p> <p>9月末にはカトリック津和野教会乙女峠清掃ボランティアに、10月末から11月にかけては明倫学舎で行われた子供向けイベント（きっずハロウィン、夏柑ネット読書の日）にそれぞれ数名の生徒が参加した。</p> <p>1月の萩市「二十歳のつどい」実行委員として4名の生徒が参加した。8月より定期的に会議に参加し、当日までの企画・運営に携わっている。そのほか、3学期には萩市駅伝競走大会補助員として陸上部の生徒が活動、「はたちの献血キャンペーン」ボランティアには定員の上限となる10名の生徒が参加した。2月頭の校友会の呼びかけによる市内清掃活動にも多くの生徒が参加した。</p>
反省 （振り返り）	今年度は少しずつイベントなどが再開され、ボランティアの募集も増えてきた印象がある。一方で夏休み前後には中止になったものもあり、全体の数も、募集人員の数も決して多くはない。希望する生徒たちに十分な参加の機会を提供することができていないのが現状である。
評価（5段階）	3
来年度へ向けて	来年度は、活動の機会は今年度よりも増えるのではないかと予想される。ここ数年はボランティアの機会が減っており、外部での活動に慣れていない生徒も多い。実際にボランティアの機会が与えられた時に、萩光塩の生徒として責任をもって活動できるように、言葉遣いや態度などの事前指導や、活動後の振り返りなどにも力を入れていきたいと考えている。

業務改善	
目標	教職員の業務内容を見直すことにより、労働時間の短縮を図り、かつ教材研究など本来の業務に充てる時間を確保する。
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで分布表などを手作業で記入していた答案綴りが Excel で入力できるようになり、教員の負担が軽くなった。 ○校務支援システム BLEND による出勤簿、学校日誌 BLEND での出勤簿、学校日誌により入力が簡単になり、教員の負担も減った。また、出席簿を BLEND に統一し、紙の出席簿を廃止した。 ○Teams によるグループでの作業の効率化 Teams を利用してオープンスクールなどの様々なファイルを共有することで、行事の計画や準備、運営が行いやすくなった。 ○Classi の利用範囲の拡大 Classi のアンケート機能を利用して、役員会の出欠とアンケートを行った。出欠の確認やアンケート集計が行いやすくなった。学期ごとの行事予定表も Classi のグループ機能を利用して送ることで、ペーパーレスに近づけることができた。 ○保護者との面談の時間制限、留守番電話対応 保護者との面談の時間を午後 6 時までには制限することや、午後 6 時以降の電話を留守番電話とすることで、仕事が遅い時間にまでならないようにした。 ○学校閉庁日の部活動を禁止して、教員が休養をとれるようにした。
反省	留守番電話対応としたことで 6 時以降の電話はほぼ無くなり、保護者からのクレームも出ていないので、今後も続けていきたい。
評価（5段階）	4
来年度へ向けて	BLEND、Classi の活用範囲をさらに広げる。Classi、ロイロノート、BLEND、マチコミの機能が重複する点もあるので、無駄な部分が少なくなるよう検討していきたい。

3 保護者からの意見

携帯電話パソコン安心講習会（4月20日）

1. 各家庭での意識が大切だと思います。10分でも良いので講習会のあった日は、危機管理も含め認識の確認をし合いたいと思っています。
2. 良好な反応でした。真実、事実の違いや、情報の取捨選択の基準を勉強できたようで良かったです。

体力テスト・交通安全教室（5月2日）

1. 次の日、筋肉痛になっている我が娘を見て、力を注ぐって大切だなと改めて思いました。

進路ガイダンス（5月19日）

（大学、専門学校の講師を招いてのガイダンス）

1. 色々話は聞いてよかったと言っていました。
2. 担当者の方が説明が良かったようで、興味を持った様子でした。
3. 入学して直ぐだったこともあり、あまりよく分からないまま選択をしてしまったと話しておりました。もう少し時期を後にした方が良いかなと。

菽光塩会総会（5月25日）

1. 久しぶりの対面での総会なので、この好スタートに合わせ行事など取り組めたらと思います。
2. 終わりの時間設定、周知があると助かります。
3. 駐車場について、テニスコート裏の駐車場が一杯になったことが分からずにどんどん車が入ってきて、場内が混雑していた。早めに運動場への誘導が必要だと思いました。

中学校オープンスクール（6月18日）

1. 中学校のオープンスクールに参加された方にとって、同時開催される英語スピーチコンテストはとても印象に残る内容だと感じております。光塩の英語教育の特色にとっても感銘を受けて我が子も入学致しました。
2. 午前の部もちょっと見てみたかったような…。人数が多いので仕方ないですね。子供達の一生懸命が伝わる行事だと思います。
3. 2ヶ月の学校生活の中でこれだけできるようになったのはすばらしいと思いました。子供たちががんばっているのがよく分かりました。

文化祭（6月25日）

1. あれだけ暑い体育館の中でも、生徒の皆さんが一つになって楽しんでいる様子が、日頃からの雰囲気伝わりました。
2. 楽しんだ様子です。芸能人や有名人が呼べると良いかもしれませんね。
3. 生徒のみで進められており、とても良いと感じた。
4. 文化祭を“Enjoy”する気持ちが、発表者からも観覧者からも伝わってきて、とても良い雰囲気の文化祭、学校だなと感じました。クラス動画作成などで友人たちとの仲が深まる様子や、初めての文化祭を満喫する様子を知ることができてうれしく思っています。
5. ステージでの合唱・合奏・演奏など、実現していただいたことに保護者としては感謝しかありません。暑さ対策と保護者席については課題はあるかと感じました。水分補給の時間を3分～5分くらいこまめに入れるなど。生徒が増えたので保護者も参加が増えています。椅子を急遽増やして対応されていましたが、次回も朝は増やした方が良いかと思いました。許可証は1人1人に配布していただいたので助かりました。昼休憩の後、午後の部開始予定の10分とか15分くらい前に（2、3回くりかえし）「この後13:30より～～」などアナウンスがあると良いかと思いました。
6. 準備の段階からとても楽しそうにしている、当日も保護者も共に楽しめて、とても良かったと思います。
7. 無事開催できてよかったです。保護者も学年指定なく子供の学校での様子が見れてうれしかったです。文化委員長の挨拶に感動しました。
8. とても素晴らしかったです。楽しませていただきました。
9. 生徒と先生が、皆で文化祭を盛り上げていて、どのプログラムもとても楽しかったです。保護者へ公開していただき、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

International Workshop（7月25日～28日 中学校1,2年生）

1. 光塩中の特色を生かした行事でとてもよい取り組みだと思います。様々な国の方々と触れ合い、国の文化の違いを知ることができ、その後も関わった方々の国の事に興味を持つようになりました。
2. 世界の国々への関心を育み、知見を広めることになり意義深い行事と思います。
3. 高校生も国際交流の場が戻ると良いなと感じます。

学校清掃作業（7月30日）

1. 生徒さんの中にはお友達同士で固まってお話ししながら座った位置から動かない様子が見受けられました。一方でバスケット部など回収に頑張っている姿も見れました。
2. 途中降り出した雨の中でも作業を続けている方もいらっしや、心の豊かさを感じました。「あともう少し、ここだけやります」とおっしゃった奉仕の心が美しかったです。
3. 例年通り、多くの方にご参加ご協力頂けて良かったと思います。
4. 早い時間から始まったので涼しいうちに終わることができて良かったです。
5. 時間も参加人数も場所の事前周知も良かった。
6. 草刈りのはなもゆへの運搬に関してはご協力できると思いますので、是非御相談下さい。
7. 暑い中での参加なので、時間的にも良いくらいだと思うが、もう少しなのに…と思うと少し心残り。草刈り機やトラックなど、毎年足りていないものがあれば準備できるかもしれないので知らせてほしい。

体育祭（9月4日）

1. 子供たちにとってとても楽しみにしていた行事なので開催されて良かったです。また、練習などを通じてクラスの団結力も強くなった様子を感じました。
2. 駐車場の担当で最後の係でした。放送で早めに車を動かすように言われていましたが、1台が最後まであり、せっかく待ってトンボをかけても、またトンボをかけ直さなければならず…。時間の都合で1台が動くまでは残る事ができませんでした。
3. 高3の団体競技は少しキケンなので、やり方を見直してはいかがでしょうか。
4. 子供達の笑顔がとてもキラキラしていて、見ているこちら側も嬉しくなる程だった。
5. 程よく風もあり、事前申込ではありましたが人数制限のない体育祭が開催できた事に深く感謝いたします。高3の子たちはいきなりの休校で始まったので、このラストイヤーは様々な経験をしてほしいと思います。内容も光塩らしさがあふれており、OBとしても楽しめました。
6. 長女が光塩中に入学したのが9年前ですが、その頃から比べると警備等お手伝いをされる保護者が増えて、大変良いことだと感じました。中学校の親子競技は、毎年人数集めに先生が声を掛けてまわっていらっしゃいます。事前に決定できると良いなと思います。
7. 生徒達の生き生きと活動する姿を家族で見ることができました。先生方、生徒の皆さんのいろいろな努力も感じました。
8. 素晴らしい運営だったと思います。観覧している側も大変楽しめた。朝の場所取りはどのように並ぶべきか分からなかった。車道も近いので、入口から右側か左側か分かれば、歩行者、自転車の方の迷惑にならず並べると思う。
9. お天気にも恵まれ、生徒たちが盛り上がっている姿や、光塩の伝統のダンスなど楽しく観覧することができました。東中グラウンドの駐車場の停めてはいけない境界がわかりづらかった。

開校記念日ミサ、コンサート（11月1日）

1. サルーキ=のコンサートとても楽しかったです。クリスチャンロックバンドという活動をされている存在を初めて知りました。この数年、制限の多い生活が続いていたので、盛り上がっていい時間を楽しめました。ありがとうございました。
2. 初めて参加しました。荘厳な雰囲気とても新鮮でした。会場も市民館大ホールであれば、感染症対策も万全だと思います。一転コンサートはロックコンサートであり、生徒達も楽しく気分転換できたのでは、と思います。私も楽しめました。機会があれば、ゴスペルソングのコンサートも期待したいです。
3. 宗教色が強い行事でしたので、光塩で学んでいる事を垣間見る事ができ、参加できて良かったです。
4. 今年は、保護者も参加出来たので、とても嬉しかったです。ありがとうございました。コンサートも盛り上がり最高でした。来年は、ハレルヤコーラスが聞けると嬉しいです。
5. 久々のミサ・サルーキ=とても良かったです。ハレルヤコーラスも聴きたかったです。来年こそ、これまでのような開校記念日ミサができますように。このような機会のおかげで久しぶりに市民館に足を運びました。

バザー（11月23日）

1. 初めてお手伝いをしましたが、たくさんのお客様が、バザーをとても心待ちにされていて、お買い物を楽しまれておられました。「もう荷物が持ちきれない量になったから、また来年も来て楽しみたい」というお客様もおられました。1つ残念なのは、開始前に体育館のトイレの便座が汚れていたことです。
2. 3年ぶりの開催で生徒も保護者も初めての方が多く中沢山の方にご来場頂いて大成功だったと思います。ひとつ気がついた事はテニスコート側の横断歩道を挟んだ校門前やテニスコート前で話している方が多く、横断歩道で車が止まって待っていているのに誰も渡らない事が数回ありました。
3. 雨が降って残念でしたが、沢山の方に来ていただき大変良かったと思います。久々に楽しかったです。来年にしっかりとつなげていただきたいと思います。
4. 初めての行事でしたが、当日の雨という悪天候の中であれだけお客さんが来られるということは、地域の方がバザーを楽しみにされていることが良く分かりました。当日は駐車場での誘導を行いました（光塩グラウンド）係の方達と声を掛け合い無事故で終えることができ安

- 心しました。
- 2年間開催出来なかったバザーですが、当日は雨にもかかわらず、たくさんのお客様が来場して下さいました。遠方から来られた方がたくさんバザー品を買っておられ“感謝”の気持ちで一杯になりました。来年度はぜひこの感動を在籍している生徒に感じてほしいと思いました。そして、お手伝いされていた先輩保護者の方々のバザーへの熱い思いも感じました。この思いも同様に保護者の間で受け継いでいけたらいいなと思いました。
 - ビスケット作りから当日まで初参加のバザーを楽しんでいる様子を見ることができました。来年は全学年当日参加出来るといいなと思います。生徒さん達の、楽しみながら一生懸命自分の仕事をする姿がとてすばらしかった。片付けもスピーディーですばらしかった。
 - 初めてのバザーでしたが、お天気に関係なくお客さんもたくさん来られて賑わっていました。光塩バザーを皆さん楽しみにされているんだなあと感じました。そして、子どもから大人まで楽しめる魅力あるバザーで良かったと思います。
 - 活気にあふれ、生徒も楽しめていて良かった。一般のお客さんで案内の用紙を持っていらっしやらない方が、迷っていた。建物前に看板のようなものがあるとスムーズに行くのでは。

キャロルコンクール・クリスマス祝い（12月21日）

- 賞を取るために皆で練習に励んでいる様子が子供の話からよくわかります。
- 最後のキャロルコンクール、クラスで心を一つにして取り組んでいるようでした。とても素敵な行事なので、いつの日か保護者も見学できる日か来るといいなと思います。
- 一丸となって練習したキャロルコンクールが残念ながら映像となったことは残念でしたが、日々の練習の中で生まれた繋がりを感じられ嬉しく思いました。また、光塩ならではのクリスマス祝いを体験できたことが何より嬉しかったと夕ご飯の時に話してくれました。

カルタ会（1月13日）

- なかなか百人一首に触れる機会がないので、このような行事はよいなと思いました。一枚も取れる自信がないと言いながら登校しましたが、思ったよりも取れたようでホッとしたと言っていました。
- 前日にならば覚えていました。
- カルタ取れたよ〜と、楽しい様子を聞かせてくれました。

萩市駅伝競走大会（1月15日）

- 選手の皆様お疲れ様でした。今回は周回コースという事もあり、沿道の応援が多く、大変盛り上がりました。
- 寒くなく、ランナーにとっては良いコンディションだったのではないかと思います。今年はコースが田町周辺に変わり、様子もわからない状況でしたが、声援を送ることはできました。襷を渡す場所は混雑していました。

4 生徒の活躍

卓球部（高校）

- ※第 73 回山口県高等学校総合体育大会卓球競技
女子学校対抗 1 位（全国・中国大会出場）
女子シングルス 2 位、4 位（以上 2 名全国大会出場）
5 位、7 位、10 位、11 位、12 位、14 位、16 位（以上中国大会出場）
女子ダブルス 1 位（全国・中国大会出場）3 位、4 位、6 位、7 位（以上中国大会出場）
- ※全日本卓球選手権大会（ジュニアの部）山口県予選
女子シングルス 2 位（全国大会出場）
- ※第 50 回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会
女子学校対抗 5 位（全国大会出場）
- ※第 73 回中国卓球選手権大会山口県予選会
女子シングルス 2 位、5 位（4 名）、9 位（2 名）※推薦出場 1 名（以上中国大会出場）
女子ダブルス 1 位、2 位、3 位（以上中国大会出場）
- ※第 76 回国民体育大会山口県（少年女子）選考会 2 位、3 位、4 位（全国大会出場）

卓球部（中学校）

- ※第 56 回山口県中学校卓球選手権大会 卓球女子個人の部 3 位（中国大会出場）
- ※2022 年度全日本卓球選手権大会（カデットの部）山口県予選
中学 1 年生以下 女子シングルス 1 位（全国大会出場）

テニス部

- ※第 16 回中国高等学校新人テニス大会
男子シングルス ベスト 16
男子ダブルス 出場
女子ダブルス ベスト 16
- ※第 13 回全国私学高等学校テニス選手権大会中国ブロック大会
女子団体・男子団体 出場
男子シングルス 出場
女子シングルス 出場
- ※山口県体育大会テニス競技
男子シングルス 6 位（中国大会出場）
男子ダブルス 9 位（中国大会出場）
女子ダブルス 10 位（中国大会出場）

社会科

- ※JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2022
独立行政法人国際協力機構 中国センター 所長賞（2 名）

理科（高校）

- ※第 18 回環境フォト・コンテスト「わたしのまちの〇と×」
高校・高等専門学校部門 優秀賞

英語科（高校）

- ※第 41 回山口県高等学校英語スピーチコンテスト第 2 位（中国大会出場）
- ※実用英語技能検定 準 1 級

美術（中学校）

- ※令和 4 年度「ゆめの未来公園を描こう！」コンテスト 優良賞

合唱

- ※第 46 回全国高等学校総合文化祭東京大会出場

書道（高校）

- ※第 27 回中国地区高等学校生徒書道展 特選、金賞（各 2 名）
- ※第 51 回全国高校書道展 準特選（6 名）
- ※第 44 回読売学生書展 読売学生奨励賞（2 名）、特選（4 名）
- ※四国大学・第 51 回全国高校書道展 特選

5 教員の自己評価と外部評価

教育目標をもとに 27 の項目を立て、教員一人ひとりが自己評価を行い、評議員に外部評価をお願いした。それぞれの項目について評価は 1～5 の 5 段階で行い、その平均を示した。

目標			自己評価	外部評価
1	教育目標	自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材の育成に努めた	4.0	4.7
2		建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限発揮できるようかかわった	3.8	4.7
3	生徒に身につけさせたい力	主体的に学び、目標に向かって最後までやり抜く生徒の育成に努めた(基礎学力の定着、学力UP)	3.8	4.6
4		他者とかかわり、社会で働く知識と技能を身につける生徒の育成に努めた(コミュニケーション力の育成)	3.8	4.4
5		自ら課題を発見し解決していく生徒の育成に努めた(自ら考え、判断し、表現する力の育成)	3.6	4.1
6		グローバル人材としての思考力、判断力、表現力の育成に努めていた	3.3	4.6
7	私たちのミッション	萩光塩学院の教育理念を理解し、それを学校教育において日々具現化し、充実・発展させた	3.8	4.9
8		各教科で研究を行い、生徒の基礎学力の定着と応用力の発展に努めた(具体的な取組みを考えた。行った)	3.6	4.4
9		生徒の進路実現に向けて、現状の課題をみつけ、対策・強化に努めた(新入試制度に対応した取組みを実施)	3.7	4.3
10		地域との連携・協働を通じて生徒の役割や活動の場を増やし、生徒の自己肯定感の醸成を図った	3.5	4.6
11	教育的情熱・真剣さ	理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗を流した	3.9	4.3
12		生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすことができた	4.0	4.7
13		受容的姿勢を大切にすると共に、生徒の将来を意識して「是は是、非は非」とした指導ができた	4.0	4.4
14		真摯な態度で職務に取り組み、モラルの向上と綱紀の保持に努めた	4.1	4.6
15	めざす教師像	教科研究・教科指導に積極的に取り組んだ	3.7	4.3
16		責任をもって自分の責任を果たすと共に組織の一員であることを忘れず、助け合うことができた	4.0	4.1
17		生徒や保護者、地域との連携を図り、迅速に対応することが信頼関係を築けた	3.8	4.3
18		地域との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校運営等に反映させた	3.4	4.3
19	人間力を高める総合的な	自らの個性や特技を積極的に発揮するよう努めていた	3.8	4.4
20		仕事や日常生活の中で自分自身を客観的に見つめ、自らの課題を理解し、前向きに自分自身を成長させようと行動していた	3.7	4.3
21		自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れず実践した	3.6	4.3

1	教職員全員で「決まりを守る」気をつけて取り組む5項目	提出物の期限を守った ・外部、内部の提出物の期限は確実に守った	4.1	4.3
2		教職員同士の連携強化に積極的に努めた ・PDCA サイクルに則って、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努めた ・諸会議の計画的効率化に努めた（時間の有効活用のため事前の計画・準備を忘れずおこなっていた）	3.8	4.4
3		綱紀保持に努めた ・体罰、暴言、飲酒運転、交通事故、情報管理、セクハラ、パワハラ、公金管理、言葉使い等	4.3	4.7
4		学校施設・設備・備品の管理、取扱いに気をつけた ・学校備品の整理整頓、使用後の清掃などをきちんとおこなった	4.3	4.3
5		時間を守った ・授業の開始と終了、ホームルームの開始と終了、掃除・勤務時間等の厳守に努めた	3.8	4.3
6		自らの健康管理に努めた（+1） ・新型コロナウイルス感染防止対策、暴飲暴食、睡眠不足等に気をつけた	3.8	4.4

6 その他

- 今年は3年ぶりに光塩バザーを開催することができた。コロナ禍で、体育館での食堂は行わず飲食を屋外のみ、生徒は2,3年生のみの参加などの制限はあったが、雨の中多くのお客様が来校され久しぶりのバザーを楽しんで帰られた。昨年の学校関係者評価委員会のご意見にもあったように、3年生に奉仕の精神を学び地域とのつながりを感じる光塩の大切な学校行事を、経験して卒業させることができたのはとてもよかった。
- これまで校長が話していた金曜朝礼での月目標の話を、教員が順番に受け持つことにした。教員一人ひとりが、建学の精神を深める良い機会となっている。
- 萩市内の企業で教員の研修を行った。学校以外の仕事で地域と協働することによって、教員としての視野を広げる良い機会となっている。
- MMB 国際教育チーム学校教育チーム西地区の研修を初めて持つことができた。廿日市聖母マリア幼稚園、萩光塩学院幼稚園、萩光塩学院中学校・高等学校の教職員約50名が集まり、MMB 国際教育チームのスペイン研修報告や姉妹校の現状報告の後、マドレ・マルガリタ、カトリック学校における新たな教育について学び、今後の取り組みについて話し合った。

7 学校関係者評価委員会の意見

学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナウィルスのため環境が大きく変わったが、そのことにどう対応していくかを努力されているし、教員の思いも感じられる。修学旅行でも、先生が生徒に対してきちんと対応してくれていることは、生徒にとって宝物である。親もしっかりと対応していかなければならない。 ● 地域との交流は大切なので、今年度生徒がバザーを経験できたことはとても良かった。 ● 保護者がよく行事に参加してくれている。学校が保護者にも行事を楽しんでもらおうとしてくれていることが良かった。 ● 色々な行事に参加してみて、先生が生徒のために色々としてくださっていることを感じた。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者が自分の責任で何かをすることができるかを考えるための講習会などが設定されると良いのではないかと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 他校と比べてもよく地域に出て活動をしていると感じている。 ● スキー体験学習の指導を手伝ったが、生徒たちが皆素直で自分の指導を受け入れてくれたので、とても楽しく指導することができた。